

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケートと保護者アンケートをもとにまとめました。ご覧の上、本校の教育にご理解をいただき、来年度もご協力をお願いいたします。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザイン（以下GD）に示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていこうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

「個々や地域・社会の教育的ニーズをふまえた学校生活を構築する」

1 学びづくり

⇒ 協働的な学びの質を高め、深い学びに導く授業改善を図る。

2 生活づくり

⇒ 「プライドファイブ」を生徒ともに徹底し安定した生活を構築する。

3 時間づくり

⇒ 業務の見直し・効率化を図り、生徒と向き合う時間を生み出す。

II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・学校評議員の評価、教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約65%（昨年度約51%）でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートの選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました（生徒、教職員アンケートは4段階）。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率（%）としてグラフ化しました。

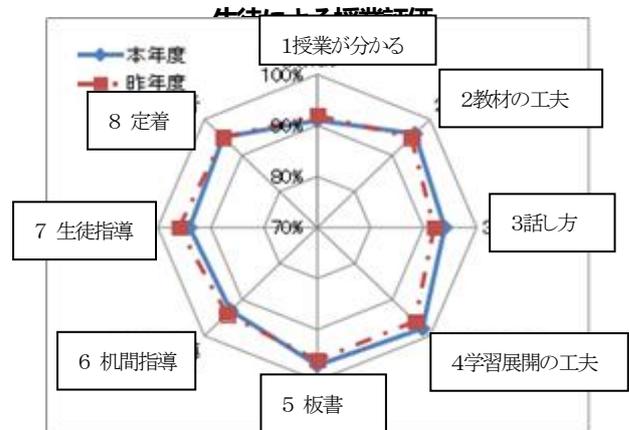
III 結果と考察（GDIに示した検証方法に沿って）

1 「学びづくり」について

A 授業について

(1) 生徒評価

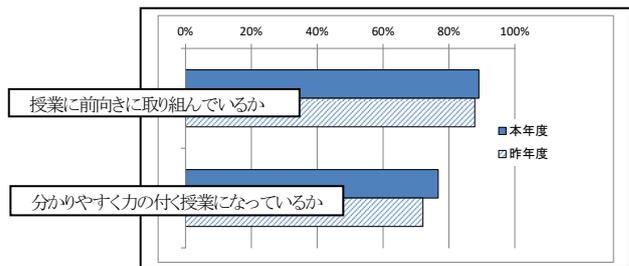
生徒を対象に授業に対するアンケートをとりました。内容は、①授業が分かるか ②教材の工夫 ③授業中の話し方 ④学習展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着 について、生徒がそれぞれの立場から日常の授業評価をしました。



昨年度に引き続き、全ての項目での肯定率が90%を超えました。特に「②先生たちは、授業をわかりやすくするために、教え方にいろいろな工夫をしている。」という項目については高い肯定率を確認しました。これは、ここ数年、試みている「協働的な学び」を志向した授業により、生徒の学びに向かう姿勢や気持ちがさらに向上しているとも考えられます。一方で生徒からは、より学習に向かう雰囲気作りや授業に集中していない生徒への指導などの要望もあります。生徒の声に応え、今後も指導力の向上を目指していききたいと思います。

(2) 保護者評価

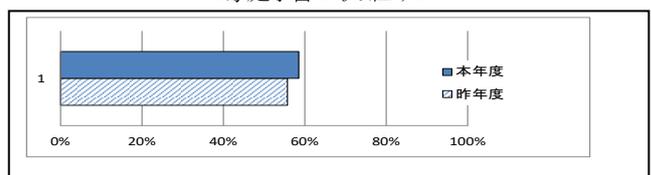
保護者の皆様からは、『授業に前向きに取り組んでいるか』について 89%（昨年度 88%）の方に、『力のつく授業になっているか』について 77%（昨年度 72%）の方に肯定的に見て頂いています。コロナ禍で試行錯誤の部分もありましたが、今後もわかりやすく力の付く授業づくりを目指していきます。



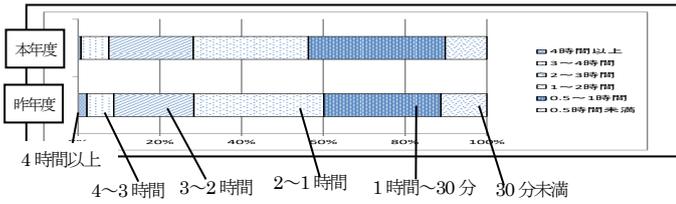
B 家庭学習について

お子さんの家庭学習を、『計画的に取り組んでいる』としている保護者の皆様は、昨年度の 56%から 59%に増加しました。また、家庭学習時間の内訳では、昨年度と比較し家庭学習1時間以上が60%を割り込みましたが、一方2～1時間の生徒が増え、全体では2ポイント増えています。家庭学習の充実・自学自習の取り組みを目的としたつばさタイム・水曜SPを含めて家庭学習の指導を見直し、生徒の自主的な学習姿勢を醸成し、充実することができるような手立てを引き続き考えていきます。

＜家庭学習の取り組み＞



<家庭学習時間>



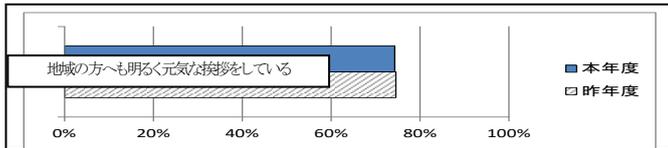
2 「生活づくり」について

A 明るく元気な挨拶について

(1) 内部評価(生徒)

【学校に来るのが楽しい】【地域の方・先生方・友達・家族にすすんで気持ちの良いあいさつができた】【各教科の宿題を計画的に行い、決められた提出日にきちんと提出することができた】など14項目について、前期、後期の二回アンケートを行い、生徒の様子や状況を把握するよう努めています。とった結果を分析し、例えば『明るいあいさつ』ができたとした生徒は96%で、昨年度より2ポイント下回ったのは新型コロナによる臨時休校で指導が十分できなかった面が影響しているのではないかと分析し、生徒会活動と連携して継続して指導していくなど対応しています。

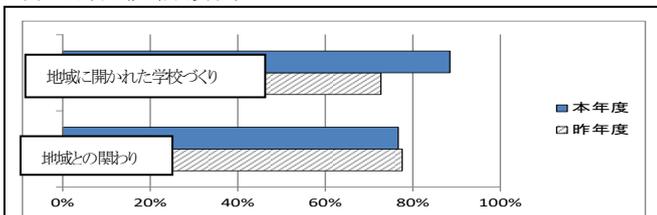
(2) 外部評価(学校評議員・保護者)



保護者の皆様からも、「戸上中の生徒さんは道ですれ違うととても良くあいさつをしてくれます」「街頭指導時、毎年、小学生よりも中学生のあいさつの方がしっかりできています」というご意見がある一方で、「あいさつはやる子とやらない子がいます。」「個人差があると思います。」というご指摘もあります。生徒による差や、生徒たちの意識と周囲の見方とのギャップが大きいと感じています。あいさつは安定した生活を構築するための指標の1つと考えますので、今後も重点にしたいと思います。全校で問題を共有し、職員が具体的な指導をし、全校の意識を高め改善していきたいです。

B 学校からの情報発信、地域との関わりについて

(1) 外部評価(保護者)



地域に開かれた学校づくりに関しては73%から89%へ肯定的な評価が増えましたが、地域との関わりについては肯定率がほぼ横ばいでした。今後もさらに地域との関わりを深め、各種通信等での情報発信を継続し、地域に開かれた学校づくりを目指していきたいです。

IV 保護者の皆様から

アンケートの中で、保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただきました。以下にその一部を紹介します。

1 学びづくりについて

○協働的な学びとあるように仲間と考えを深めたり、地域と共に考え

を深めたりという授業、時間が増えていて、力を入れていこうという思いが伝わってきます。続けていただければと思います。

◎つばさタイムのような家庭学習に取り組みやすい時間をもっと増やしていただきたいです。

2 生活づくりについて

○朝の通学路や学校でもあいさつは小学生よりもよくやっていると思います。こちらが驚く位、声も大きく気持ちが良いです。

◎完全無言清掃というのはどう思って清掃をしているのでしょうか。(中略)私語をなくすと集中するしはかどります。清掃も同じで集中してやるときれいになります。

→無言清掃はプライドファイブの一つ、清掃委員会の活動目標の中心となっているので今後も意義を大切にしていきたいです。

3 プライドファイブについて

○大変すばらしい取り組みだと思います。これからも誇りをもって続けていってほしいです。

○戸上中の生徒さん達の応援を見た時とても感動して心が震えました。先輩達から長年その伝統が引き継がれているのですね。いつもこちらが元気をもらっています。

4 部活動について

○部活動について、ご指導頂いている先生方より子供達にアドバイスや声掛けなどが平等にあるとありがたいなど子供との会話の中から感じました。平日に限らず休日までご指導をしてくださりありがとうございます。これからも宜しくお願いいたします。

◎テスト前の部活をもう少し考えてもらいたいです。平日の3日間だけでは厳しいので、せめて土日のどちらかは休みか半日にしないと勉強へまわらないと思います。

◎先生が不在時は無理して部活動を行わなくても良いと思います。

→一部活動なしの期間は生徒の実情を確認し考えていきたいです。また練習の場には必ず一名以上の教員がいるようにしています。今後もスチューデントファーストの部活が進められるようご理解、ご協力をお願いします。

5 その他

○学校で先生方の協力、努力により音楽会等が行われたことがとても救いでした。ありがとうございました。

○いじめ等悪い話は聞いた事はないです。子ども、先生友達に恵まれたのか楽しく過ごしているようです。毎日元気よく楽しく過ごすことができ感謝しております。

◎緊急事態宣言があった2ヶ月間は本当に家にばかりいて精神的に嫌な思いをしました。1学年は10ヶ月しか学べず、もう2年生になってしまうのがはやいもので、もう後輩に教える立場になってしまうのが残念という子供達もまだ甘えたいのではないのでしょうか。

◎自転車通学のマナーを再度確認して頂きたいです。(中略)気を付けていますが、こちらが待っていても避けていても挨拶なく広がって話したままスピードを上げて自転車をこぐ生徒が多い様に思います。安全に、そして皆で気持ちよく生活できるよう一人一人考えてもらえたらと思います。

→学校では登下校時、寒さに応じて防寒具を着用してよいこととしていますが、暑さについてもその都度判断し、調整していくよう指導していますが、生徒の健康に関することですので今後も続けていきます。また、自転車通学については、自転車通行のマナーや事故防止は生徒の命に関わることとして一人ひとりの自覚を促す指導を繰り返しています。特に積雪時の自転車通学は避けるなどについてご家庭での指導もよろしく願います。

出していただいた意見については来年度に向け方策を練ったり、随時見直ししたりしていきたいと考えています。